

## はくちょう座

南半球には、有名な「南十字星」がありますが、はくちょう座は「北十字星」と呼ばれることもある星座です。十字形にならぶ星の並びは光の多い市街地でも何とか結ぶことができます。

はくちょう座の1等星デネブは夏の天の川をつくる恒星の一つです。近ごろは天の川が見えにくくなってきたと言われます。空に白鳥の飛ぶ姿が結べましたら、そこが天の川。白鳥は天の川に沿うように飛んでいるのです。

はくちょう座の物語はいろいろありますが、大神ゼウスが変身した白鳥が天の川の中を飛ぶ姿とされています。ギリシャのスパルタにレダという大変美しい妃がいました。ゼウスは、白鳥に変身して彼女に会いに行きます。レダはその後、二組の双子の兄弟・姉妹を生みました。この兄弟が、ふたご座のカストルとポルックス、姉妹はトロイの戦争のヘレネとクリュタイムネストラといわれています。

### 今月の見どころ星どころ

## アルビレオ



文・浜松市天文台  
喜澤 俊輔

はくちょう座のくばしに当たる部分の星は3等星の「アルビレオ」という恒星です。肉眼で見ると1つなのですが、望遠鏡で見ると黄色の3等星のすぐ横に青白色の5等星が輝き、アルビレオが二重星であることが分かります。(色の違いも分かりますよ。)

宮沢賢治「銀河鉄道の夜」に「アルビレオの観測所」という場所が登場します。白鳥区の終わりの天の川に建つ大きな四棟の建物で、「目も覚めるようなサファイアとトパーズの大きな二つの透き通った球が…」と描写されています。まさにアルビレオを表現した青色と黄色の二つの光。この夏、ぜひ望遠鏡でご覧ください。



© 国立天文台

## 星空クイズ

夜空の星を見上げて、その輝きに心を癒やされる。そして、宇宙に思いを馳せる。素敵ですね。天文台の星空観望会も「宇宙へのとびらinはままつ」としています。

天文教室では、「宇宙は広いんだよ。まだまだ分からないことがたくさんあるんだよ。」と話をすることもありますが、さて、宇宙ってどこからなのでしょう。国際航空連盟が定める宇宙は、高度何kmからでしょうか。

- A,50km
- B,100km
- C,150km

答えは中間へ

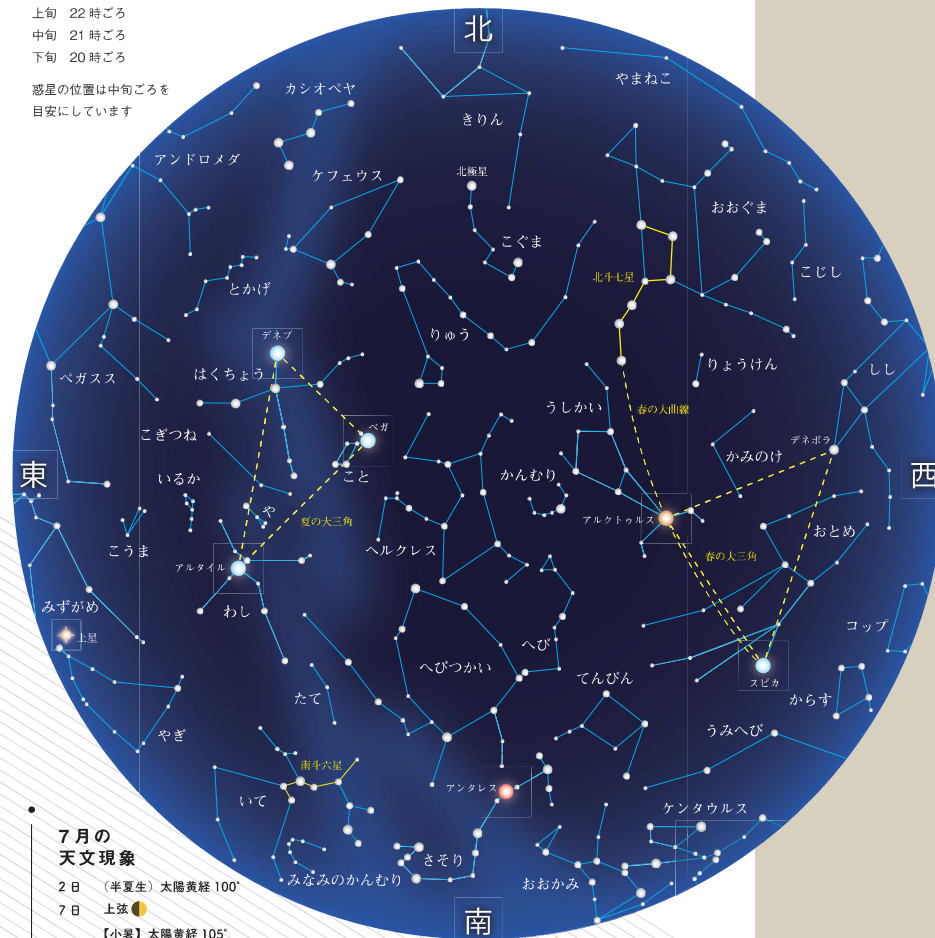
# 星空案内

浜松市天文台と浜松科学館がお届けする今月の星空情報

### 2022年7月

- 上旬 22時ごろ
- 中旬 21時ごろ
- 下旬 20時ごろ

惑星の位置は中旬ごろを目安にしています



### 7月の天文現象

- 2日 (半夏至) 太陽黄経 100°
- 7日 上弦 ●
- 【小暑】 太陽黄経 105°
- 14日 満月 ●
- 20日 (夏の土用入り) 太陽黄経 117°  
冥王星がいて座で衝  
下弦 ●
- 23日 【大暑】 太陽黄経 120°
- 29日 新月 ●

今月の満月は、今年一番大きい満月です。「スーパームーン」と呼ばれて、よく耳にするようになりました。地球の周りを公転する月の軌道は楕円形なので地球と月の距離は一定ではありません。7月14日に最も地球に近い満月になります。逆に一番遠い満月は1月18日でした。並べて比べられたら違いがよく分かるんですけどね。

2022  
7月



上の星図は、空にかざして実際の方向と合わせてご覧ください。





# 1 浜松市天文台

催しはすべてウェブでの事前予約制となります。

詳細・お申し込みは浜松市天文台ウェブサイトをご覧ください。

新型コロナウイルス感染防止のため、人数制限を行っております。各イベントは事情により中止になる可能性もございます。天文台ウェブサイトまたは Facebook で随時お知らせいたします。

ウェブサイトはこちら



## イベント情報

※参加費は全て無料です

### 7/6 スマホ de ムーン - スマホで月を撮ってみよう! -

スマートフォンのカメラを使って、月を撮影してみよう。

※ご自身のスマートフォンをお持ちください



【7/6】月面エクスを狙う!

時間 18:30~19:30  
会場 天文台屋上階  
申し込み 6/29 13時から受付(先着5組)

【7/14】スーパームーン!

時間 19:30~20:30  
会場 天文台屋上階  
申し込み 7/6 13時から受付(先着5組)

### 7/2・9・16・23

#### 星空観望会

宇宙へのとびら in はままつ

季節の星座、星雲・星団、月、惑星などを観望。星座の配置や結び方などを、空を見ながら解説します。

時間 19:30~21:00 会場 天文台屋上階  
申し込み 開催3日前の13時から受付(30分ごと先着10組)

### 7/3

#### 太陽・昼間の星 観望会

太陽や昼間に見える明るい天体をご案内します。太陽は専用の機材で安全に観望します。

時間 14:00~16:00 会場 天文台屋上階  
申し込み 6/29 13時から受付(30分ごと先着10組)

### 7/9

#### めざせ! 望遠鏡マスター

望遠鏡を使って天体を見てみよう! 小学生対象の簡単な取り扱い説明と実習を行います。

時間 18:30~19:30 会場 天文台屋上階  
申し込み 7/6 13時から受付(先着4人)

### 7/16

#### 天文ミニ講座

星座と当晚の見どころについて、星のソムリエがやさしくお話しいたします。

時間 18:30~19:20 会場 2F 講座室  
申し込み 7/13 13時から受付(1時間ごと先着5組)

### 7/30

#### 今夜の星グルメ

星のソムリエによる、星空案内付きの観望会です。

時間 19:00~21:00 会場 天文台屋上階  
申し込み 7/27 13時から受付(1時間ごと先着5組)

### 7/31

#### 星と景色の写真講座

三脚と一眼レフカメラで、星の写った風景写真を撮影するための入門講座です。

時間 18:30~21:00 会場 天文台屋上階  
申し込み 7/27 13時から受付(先着6組)

裏面のクイズの答え: B

## 星空のエピソード

### vol.4 小さな星は美しい?

梅雨どきの私は、雲間を待ちつつ双眼鏡の手入れをしています。雲の切れ間にパッと見える夜空には、澄んだ黒色に夏の星々が清らかに輝き、春は見られなかった小さな星々も見られるからです。ある時、美しい星空を見上げていてハッと気付いたのは、「小さな星が見える時ほど、星空がきれい!」だということです。名もない、星座の線には関係ないような無数の小さな星が感動を生み出していることに気付いたとき、自分まで肯定されたような気がして、涙がこぼれそうになるほど嬉しくなりました。(文・鈴木 謙誌)



# 2 浜松科学館

## プラネタリウム番組情報

解説員が星空をライブ解説する「生解説プラネタリウム」と臨場感ある「大型映像」をお楽しみいただけます。

「ハナビリウム」も上映中!

**NEW!**

生解説プラネタリウム  
**宇宙へGO! 夢の宇宙旅行**  
7月8日・9月30日 11:40~12:35; 14:30~15:25  
少しずつ一般に開かれてきた宇宙旅行。その現状をお話します。  
14:30~15:25  
土日祝・夏季中は11:40~12:35も上映

**NEW!**

大型映像  
**水の惑星**  
水の惑星  
タヒチ、モルディブ、ニューカレドニア...いのちあふれる海。南国地球から星空を望み、星の世界に水を探そう。  
【7/16~】 15:50~16:35

キッズプラネタリウム  
**こんやのお星さまとおたんじょうびの星座**  
【かに座】6/21~7/22【しし座】7/23~  
土日祝・長期休暇期間のみ  
10:30~11:10

15:50~16:30 (7/15まで)  
▼土日祝・夏季中  
13:15~13:55

高校生以上限定  
夜の科学館 特別放映  
「STAR FLIGHT season II」  
7月は「イギリス編」

STAR FLIGHT season II  
7/15  
17:50~18:50

## 世界はどう見る? 天の川

夏の星空の話題に挙がることが多い「天の川」。無数の星が帯状に集まった銀河で、川のように見えることからその名が付けられています。この天の川、世界の国々ではどのように見られているのでしょうか。

天の川は、エジプトでは「天のナイル川」、中国では銀色の川を意味する「銀河・銀漢」と呼ばれています。オーストラリアでも川に見立てられ、明るく輝く星は川で泳ぐ魚だと伝えられています。

欧米で言われる「ミルクィー・ウェイ(乳の道)」の呼び名は、ご存知の方も多いかも知れません。大神ゼウスの妻・ヘラがヘラクレスにお乳を与えていて、ヘラクレスがあまりに強く吸ったことで、思わず引き離した時にほとぼした母乳だというギリシャ神話が由来しています。ギリシャ語では乳の道を「ガラクシアス」と言い、英語読みで「ギャラクシー(銀河)」となります。

フィンランドに伝わる神話では、ズラムスとサラミという夫婦が、死後再び会うために空にかけた「光の橋」、アメリカ先住民の間では「魂の道」、エジプト神話では女神イシスが怪物から逃げる際に落とした妻の褌が天の川になったと言われています。

多くの地域で「川」や「道」として見られている天の川ですが、ユニークな捉え方をしている所もあります。南半球では天の川

## column

が濃くはつきりと観測できることから、アフリカの部族は「空の背骨」や「空を分けるものさし」と想像したり、「灰の道」「炉の残り火」と見立てているようです。

そんな天の川を、皆さんは肉眼で見たことはあるでしょうか。現在は街明りによって、ほぼ見る事ができなくなってしまいました。2016年に発表された記事によると、世界の3人に1人が天の川を肉眼で見られない環境に住んでいるそうです。かつて当たり前のよう見え、人々の想像力を掻き立てていた天の川。7月7日まで放映中の生解説プラネタリウム「星まつり七夕」では、その姿を存分にお楽しみいただけます。ぜひ満天の星で、美しい天の川を眺めてみてください。

(文・浜松科学館 天文チーム)

アフリカ南部(ナミビア)から見た天の川

©Markus Meier

